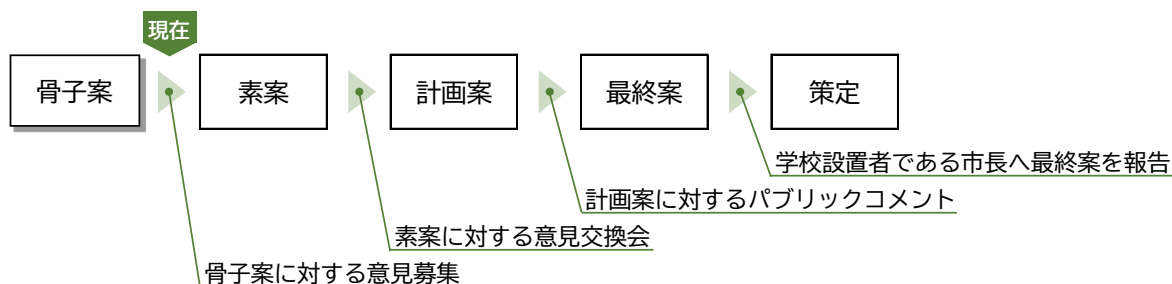


## ブロック(エリア)分け候補案及び 学校再編の具体案の検討における必要な視点について 【グループ協議】

### 1 基本計画策定の主な流れ

以下の流れに沿って、市民の声を広く取り入れながら計画づくりを進めていく。



### 2 基本計画（素案）をまとめるための今後の協議内容

- ・現在、審議会における審議は、基本計画の核心部分となる学校再編の具体を整理するための協議をしている段階であり、総論から各論の議論へと重要や局面に入っている。
- ・今後は、学校再編の具体案として大枠を示す基本計画（素案）をまとめていくための協議となる。
- ・基本計画(素案)については、令和8年10月頃までにまとめたいと考えており、今後の主な協議内容は以下のとおり。

| 審議会        | 主な協議内容(現時点の予定)                                                                                                                                                 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第6回(本日)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・望ましいと思う学校再編ブロックの候補案について</li> <li>・学校再編の具体案の検討における必要な視点について</li> </ul>                                                  |
| 第7回(8月上旬)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・骨子案に対する意見募集の結果(途中経過)を踏まえた、学校再編の具体案の検討について</li> <li>・考慮すべき事項への対応における必要な視点について</li> <li>・素案に対する意見交換会の実施方法について</li> </ul> |
| 第8回(10月上旬) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・再編の対象となる学校や実施時期、学校形態など学校再編の具体案について</li> </ul>                                                                          |

### 3 ブロック分け候補案

- ・ブロック分けは、ブロックごとに学校再編の具体を整理するため行うものである。
  - ・審議会では、これまで市域全体をいくつかのブロック(エリア)に分ける際の考え方などについて意見を交わし、様々な視点から協議を重ねてきた。
  - ・こうした協議を踏まえ、骨子案において、現時点における「学校再編ブロック」の候補案を整理した。
- ※なお、ブロック分けは、同一ブロック内の学校を一つに再編することを前提としたものではない。
- ・今後実施する骨子案に対する意見募集の結果を踏まえつつ、「こどもたちへの影響」「地域性、地域コミュニティとの結びつき」「学校の持続可能性」など、総合的な観点から、学校再編ブロックを設定する予定である。

#### 4 本日のグループ協議の内容

本日のグループ協議の内容は以下の2つ。

<協議①> 骨子案で示す学校再編ブロックの候補案①～④について、それぞれのブロック内優先順位(P52、P54、P56、P58)や、以下の3つの視点を踏まえ、4つの候補案のうち、望ましいと思う候補案はどれか。また、そう考える理由とは。

視点その1「こどもたちへの影響」

⇒通学距離や通学区域の連続性、学習環境の変化などこどもたちへの影響

視点その2「地域性、地域コミュニティとの結びつき」

⇒生活圏のまとまり、自治会単位など地理的・歴史的なつながり

視点その3「学校の持続可能性」

⇒20年後も存続し続ける学校配置など、長期的な視点による持続可能性

<協議②> 今後、学校再編の具体案(どの学校を、いつ、どのように再編していくのか)を検討するに当たり、どのような視点が必要か。

例えば…

- ・ 中学校への進学を想定した「学区のまとまり」で考える。
- ・ 児童生徒が小中学校在学中に複数回の学校再編を経験することのないようにする。
- ・ 通学区域の広域化により、通学環境が児童生徒にとって過度な負担とならないよう配慮する。
- ・ 再編となる学校間で、事前に交流活動等を実施する。 など

## 【グループ協議】

### 【手順1】アイスブレイク（目安5分）

- ・グループ協議に入る前に、場の雰囲気や和ませる意味で、まずは最近の気になる出来事などを交えながら、自己紹介しましょう。

### 【手順2】協議①②について自分の考えを整理（目安10分）

#### ＜協議①＞

- ・骨子案で示す学校再編ブロックの候補案①～④について、それぞれのブロック内優先順位(P52、P54、P56、P58)や、3つの視点「こどもたちへの影響」「地域性、地域コミュニティとの結びつき」「学校の持続可能性」を踏まえ、4つの候補案のうち、望ましいと思う候補案はどれか。そう考える理由も含め、自分の考えを整理しましょう。

| 望ましいと思う候補案 | そう考える理由 |
|------------|---------|
|            |         |

#### ＜協議②＞

- ・学校再編の具体案(どの学校を、いつ、どのように再編していくのか)を検討するに当たり、どのような視点が必要か。自分の考えを整理しましょう。

必要な視点とは

### 【手順3】グループ内でそれぞれの考えを発表・まとめ（目安45分）

- ・協議①②について、グループ内で出た意見を付箋に書き、机上にあるグループ協議用作業シートを用いて、グループの意見としてまとめましょう。

### 【手順4】グループごとに発表（各3分）